

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 本品をご使用の際は、必ず水栓のハンドルまたは配管の元栓を開いた状態にしてください。閉めた状態で水が流動せず、凍結破損を引起す恐れがあります。
- 排水には十分ご注意ください。凍結を防止する機能が働いて流れ出した水が地面で凍結し、すべてケガをする恐れがあります。
- 本品の周囲には十分な空間を確保してください。
- 分解・改造をしないでください。故障や事故の原因となります。
- 凍結防止のため一度開いた弁は、感知部の水温が5.0℃以上にならない場合は止水しないことがあります。製品の故障ではありません。
- ゴム弁部にゴミが噛んでいる、もしくはゴム弁部の破損の場合、水が止まらなくなることがあります。その際は、販売店または当社にお問い合わせください。
- 本品を取付けの際は、必ず水栓または配管の元栓を開いて作業をしてください。
- ご使用の水道が、①給水圧力0.04～0.5MPa、②水道本管の水温（水栓を開けて1～2分後の水温）が5.0℃以上でない場合、③外気温度が-15℃以上でない場合は、正常に作動しない恐れがありますのでご注意ください。
- 本品の周囲温度が0.5℃以下になるよりも先に、配管部の温度がマイナスになるような場所ではご使用できません。凍結を防止する機能が働かないうちに、凍結する場合があります。

仕様・構造

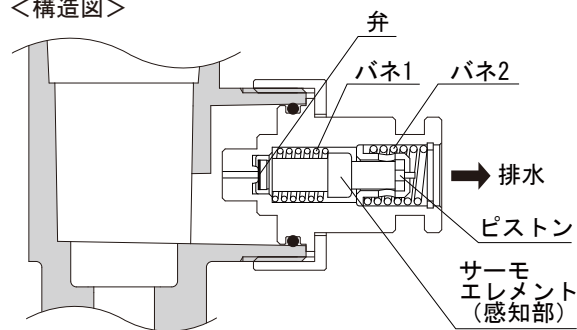
<作動原理>

止水の状態では周囲温度が下がると、サーモエレメントが温度を感知してピストンが収縮し、バネ1によりサーモエレメントに接続された弁が押し上げられ開弁します。水が排出され流動する水の温度が上昇すると、ピストンが伸びバネ2により弁が押し付けられ閉弁します。

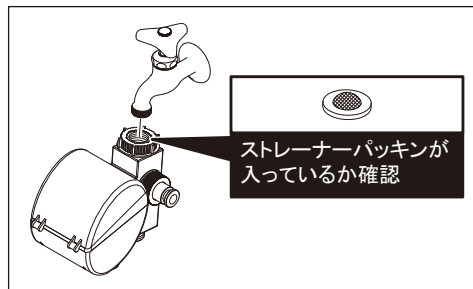
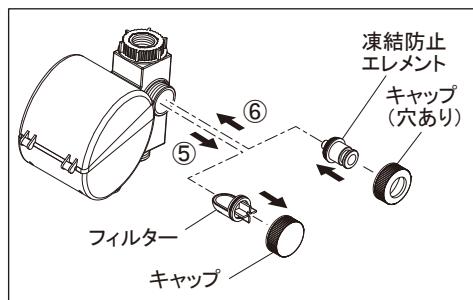
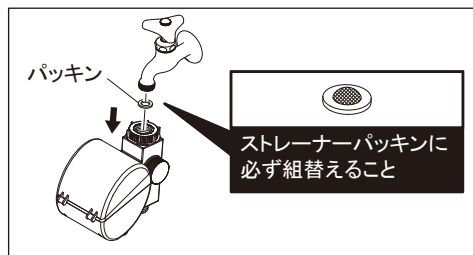
<仕様>

- 使用温度範囲 -15℃～60℃
- 開弁温度 2.5±2℃
- 閉弁温度 5.0℃以上
- 作動時流量 雰囲気温度 0℃、流体温度 0℃、給水圧力 0.05MPaの場合約300ml/分
- 使用圧力範囲 0.04～0.5MPa

<構造図>



取付方法



- ①水やりを行っていないことを確認してから水栓または配管の元栓を閉めます。
- ②コンピューターの操作パネルの **手動水やり** を押し、本体内の水を抜きます。
* 本体内に水が残っていると水圧でキャップが外せなくなりますので、必ず本体内の水を抜いてください。
- ③再度 **手動水やり** を押しして弁を閉じます。
- ④コンピューターを外し、コンピューター本体上部のパッキンを同梱のストレーナーパッキンに組替えます。
- ⑤キャップを外しフィルターを「ペンチ」などで抜取ります。
- ⑥凍結防止エレメントを取付け、キャップ（穴あり）をしっかりと締付けます。

- ⑦ストレーナーパッキンが入っていることを確認してから水栓にコンピューターを取付け、水栓のハンドルまたは配管の元栓を開きます。
* 各部に水もれがないか確認してください。水もれが発見された場合は、水栓または元栓を閉めて、水もれする箇所を施工しなおしてください。



- 同梱のストレーナーパッキンに必ず組替えてください。ゴミが詰まり故障の原因となります。
- 使用しない場合でも必ず水栓のハンドルまたは配管の元栓を開いたままにしてください。水が流動せず、凍結破損を引起す恐れがあります。
- 施工後は同梱の下げ札を目の届く場所に取付けてください。